

ゴミの山が、キレイになり、お金をもらった。



◆ゴミが、“8.7万円の収入”

従来だと“11.7万円を支払” 差は、20.4万円

従来では、廃プラスチック箱は、20円/kgを払って処分していました。そして、粒状に加工して、燃料として燃やす“サーマルリサイクル”をしていました。

今回、新しい業者を見つけた事で、廃棄されるプラスチック箱が、15円/kgで売れ、リサイクルされるようになりました。これが、物に生まれ変わる“マテリアルリサイクル”です。

その新しい業者は車で15分の所にあるので、運搬での環境負荷は小さく、また、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルに変わり、環境に優しくなりました。また、今回は、処理業者内で製品として生まれ変わるので、実際にどう処理されて何になるのかを見る事ができます。どう処理されるかまで確認するのが廃棄物処理の基本です。



今後の取り組みと、分別のお願い

上記の様に、世の中の処理方法も進化しており、我社の分別を見直す時期が来ました。

.....3月中旬から実施予定.....

“廃プラ固形” “廃プラビニール”の中から、お金がもらえてマテリアルリサイクルとして処理する対象物を下記のように増やします。

- ①PP容器 ②PPバンド ③トレイ無色 ④トレイ有色
- ⑤ストレッチフィルム

分別箱を設置しますので、ご協力お願いします。

回覧確認欄

冬の省エネの切り札「すきま風を防ぐ」「足元を暖かく」

ビル玄関から中に入るには、2つ自動ドアがあり、風除け室となっています。しかし、自動ドアのスライド側ガラスと固定側ガラスのすき間が1cmあり、すきま風で守衛所が寒い状況でした。また、その風は、2階商談室や受付まで届き、エアコンが効きにくい状態でした。

◆ガラスの間にスペーサー設置



スライドガラスとの間に、起毛のスペーサーを入れ、風を入りにくくしました。同時に、暖房の天井吹出し口の位置を人の居る所に近づけ、暖かくなりました。

◆2階受付 パネルヒーター

足元を暖めることで、多少頭上が冷えている場合でも、以前より暖かく感じ、宿日直の人からも好評を得ています。200Wで省エネタイプ（従来の1/5の電気代）。真っ赤になる電熱タイプではないので、火災やヤケドの心配もありません。



この対策を行ったことで、守衛・受付業務の人の快適性が向上し「冷たいすきま風が無くなった」との声もあり、また、エアコンの節電にもなりました。

環境豆知識 かけ崩れ防止工事「ノンフレイム工法」

従来より1割安く、景観もよく、自然を残せる 日経エコロジー2012.3月号より
2011年 グッドデザイン・サステナブルデザイン賞、エコプロダクト大賞のダブル受賞

【概要】根に擬したロックボルトを地盤まで突き刺し、地面に露出した頭部を支圧板で押さえる。さらに、支圧板をワイヤーロープで連結して、面で斜面を押さえる。

